



図書委員さんのオススメの1冊です 

寒い日に読みたい1冊 

「クリスマス・キャロル」 ディケンズ / 村岡花子 訳

ケチで冷酷で人間嫌いの亡者スクリージは、クリスマス・イブの夜、亡くなった親友のマーレイの予言通り、翌日から3人の幽霊と出会い、自身の人生を振り返ります。これはスクリージの心が次第に変化していく、愛と感動の物語です！心を閉ざして誰とも関わりを持たなくなってしまったスクリージが、過去・現在・未来の幽霊からさまざまな気づきを得ていく姿は、自分の生き方や小さな幸せ、周りの人や愛情の大切さを考えるきっかけをくれます。

寒い冬に読みたい、心温まる1冊です！



1年の終わりに読みたい1冊 

「バッテリー」 あさのあつこ

剛速球を投げる小学6年生・原田巧は、転校先で野球部の捕手・永倉豪と出会い、2人はバッテリーを組むことになります。豪や家族との関係に悩みながらも、自分の野球と向き合い、成長していく物語です。この1冊の今回注目してほしい部分はとてもリアルな風景の描写シーンです。

あさのあつこさんならではのリアルな描写風景や季節感のわかる表現などが多いです。1冊目は冬の季節から始まるためぴったりだと思いました。



編集 11HR・12HR図書委員

寒い冬に、暖かい部屋で読みたい本の紹介 

ブックオフの冬のおすすめ読書リストより紹介



・太陽の塔 森見登美彦

クリスマスに恋人と過ごす“リア充”を妬む、モテない男たちが巻き起こす騒動に大笑いすること間違いなし！こじらせまくった彼らの姿に若干引きつつも、その生き方になぜか気高さを感じ、勇気をもらえるから不思議です。

・チョコレート工場の秘密 ロアルド・ダール

世界中の人に魅了するロアルド・ダールの名作です。巨大なチョコレート工場を経営するウィリー・ウォンカが、工場見学の招待券が入ったチョコレートを5枚だけ出荷。特別なチケットを手にした子供たちを待っていたのは、甘い香りが漂う不思議な世界でした。

・34丁目の奇跡 ヴァレンタイン・ディヴィス ・雪国 川端康成

・賢者の贈り物 オー・ヘンリー ・ライ麦畑でつかまえて J-D・サリンジャー

・飛ぶ教室 エーリッヒ・ケストナー

参照:冬のおすすめ読書リスト | 寒い日はおうちでぬくぬく本を読もう。

(<https://shopping.bookoff.co.jp/book/feature/winter>)

蔵書検索サービス「カーリル」が導入されました！

磐田北高校の蔵書検索がスマホやタブレットで簡単にできます。
書名やキーワードなどで検索できるので便利ですね。

こちらのQRコードを読み込んでみよう！→



12月20日(土) 磐田中央図書館にて、総合文化部(生活文化)の1・2年生が、毎年恒例のクリスマスイベントで手遊びやハンドベル演奏を行います！